



駒本の力

駒本小学校（家）

教育活動紹介便り

NO. 1

平成27年4月21日

居ずまいを正した挨拶を指導しています

校長 田中 克昌

平成27年度がスタートして2週間がたちました。順調な滑り出しができ、18日には1回目の土曜授業公開も行うことができました。その日には、一年生を迎える会も行い、多数の保護者の皆様にその様子を観ていただくこともできました。

今年の駒本小学校は「愛と熱と力の駒本」です。その具体として、まずは全教職員あげて挨拶の指導の徹底を行っています。行動形成は形づくりと意味づくりと言います。まずは、形から入ります。そして、その意味を何度も伝えます。さらに、教職員が率先して実行しています。先週から、あいさつがんばり隊の活動も開始されました。月ごとに学年当番を定め、子どもたちが日直の先生や校長と一緒に校門に立ち、一人一人の子どもたちと挨拶する活動です。では、本校が取り組んでいる挨拶について紹介します。

1. 朝のあいさつ【居ずまい正した挨拶】

- ① 校帽を脱ぐ（これは、駒本小オリジナルでとてもすてきな習慣です。）
- ② 気を付けをして、相手の顔を見る。（これがとても大切です。）
- ③ しっかりとした声で「おはよう(礼)ございます」。
- ④ 子どもたちが「おはよう」と言ったあたりで、こちらも「おはようございます」を開始して、両者の「礼」がそろいます。

挨拶は人と人との全ての基本です。小学校は生涯にわたって必要な「力」の基礎を培う大切な場です。社会に出て困らないように、そして、立派な社会人になってもらいたくて、この居ずまいを正した挨拶の指導をしています。

2週間の指導の結果、上の4つを自分から進んでできるようになった子がとても増えてきました。私はよく先生方に、「良いも悪いも子どもたちの成果は、指導の証である。」と話しています。教職員の地道な努力が子どもたちの成果となっている姿は校長としてとてもうれしいことです。ご家庭や地域でも、すてきな挨拶ができるよう、ご指導いただけますようお願いいたします。

2. 校舎内での挨拶

校舎内では、立ち止まって、居ずまいを正しての挨拶は難しいかと思えます。ですから、教職員や来校者に対して、しっかりと「こんにちには」と言えるよう指導しています。

このように駒本小学校では、教育目標の「元気な子」の具体的な姿として、挨拶の指導に力を入れています。「居ずまいを正した挨拶で、心のスイッチを入れよう」と全校朝会でも話をしました。

一年生を迎える会



4月18日(土)の土曜授業公開の日に、一年生を迎える会を行いました。この一年生を迎える会というのは、学校における4月の恒例行事で、全校児童で一年生を迎える大切な会です。6年生のお兄さんお姉さんのエスコートで、花のアーチをくぐった子どもたちは、体育館前方のひな壇に並びます。代表委員会の児童による、歓迎の挨拶や、2年生からの手作りのメダルのプレゼント、代表委員会児童による駒本小〇×クイズが楽しく行われました。一年生からは「世界中の子どもたちが」

という歌の出し物があり、全員で校歌を歌って終了しました。この会を土曜授業公開で保護者の皆さんにも公開させていただきました。

一年生の自己紹介では、46名が一人一人しっかりと自分の名前を言い、よろしくお願ひします、と挨拶できていたことには、正直驚きました。「駒本の力」をまた一つ感じた瞬間でした。さらに、迎え入れる在校生の子どもたちも代表の挨拶やエスコートの仕方等、どれも一年生へのやさしい配慮が感じられるすてきな態度でした。これも、駒本小がもっているすてきな力の一つですね。

「愛と熱と力の駒本」 ウィリアム・ウォードの言葉 から

凡庸な教師は指示をする

いい教師は説明をする

優れた教師は範となる

偉大な教師は内なる炎に火をつける

アメリカの教育者、ウィリアム・ウォードの言葉です。教師のあるべき姿を端的に示してくれています。常に教育者として、子どもたちの内なる炎に火をつけられる教師でありたいものです。「教師」のところを「親」「校長」と変えてみれば、それぞれの立場で自分がなにをしなければならないかは明らかになるようです。

内なる炎に火をつけるは、英語では「inspire、インスパイア」となっています。ぜひ、子どもたちをインスパイアできる駒本小でありたいと願っています。

「駒本の力」よろしくお願ひいたします

本校の教育活動に対しまして、日頃よりご理解、ご支援いただいておりますこと、誠に感謝申し上げます。今年度より、駒本小の教育活動について、さらにご理解いただくために、この「駒本の力」という通信を発行することにより、学校の情報発信量を増やしたいと考えました。学校だよりでは、書ききれない教育活動について、お知らせしていきたいと思っています。「駒本の力」の力は、駒本小の子どもたちの「力」であり、駒本小の教育の「力」を表しています。どうぞよろしくお願ひいたします。